

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第39回）の概要

1 開催日時

令和4年9月12日（月） 14:00から15:20まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第4会議室

3 出席者

評価委員会委員： 5人

事務局： 5人

法人： 15人

4 内容

(1) 県健康福祉部理事挨拶

(2) 議事

① 地方独立行政法人山口県立病院機構の第4期中期目標（素案）について

- ・ 事務局から資料1～資料4について説明

主な質疑応答・意見

〔 ●委員 ○事務局 □法人 〕

- 総合医療センターの中期目標及び中期計画の期間（R5～R8年度）における機能強化と、策定中の基本構想は齟齬がないよう、綿密に策定されないといけないが、どうなっているか。
- 基本構想は建て替えを基本とする長い期間を想定しており、中期目標及び中期計画は来年度からの4年間となるもので、同じ方向性を向いたものとなる。
- 総合医療センターの高度医療機器等を地域で共同利用すべきはないか。
- 地域医療支援病院であり、すでにCTやMRIなど共同利用している。
- 総務省のガイドラインでは収入確保についての記載があるようだが、機構においては、外部委託を活用するなど未収金の回収はうまく出来ているのに、「未収金の発生防止と回収に努めること」の記載は必要なのか。
- 当機構においては、県からの出資を受けている地方独立行政法人という性格を踏まえ、未収金の回収等について、適切な対応を行っていく必要があると考えている。

- 「医学生や看護学生などの教育実習を受け入れ」と記載があるが、通常、教育実習とは教職員免許状を取得するための実習を意味するものであり、教育実習ではなく、実習と記載した方がよいと考える。
- 教育実習から実習に修正したい。

- 働きやすい環境づくりとして、「ICTの活用など業務負担の軽減に向けた取組」と記載があるが、具体的な内容を教えてほしい。
- 個々のシステムは具体的に改善を図っているが、病院の業務はシステムの集合体なので、それぞれが有機的に連動するようにし、業務負担の軽減に繋がるように取り組んでまいらる。

- 施設設備の長寿命化とはどのようなものか。
- 適切なメンテナンスに基づく長寿命化による総コストの縮減などが想定される。

- こころの医療センターと児童相談所はどう連携しているのか。
- 医師を派遣し対応しているが、今後も早めのサポートを心掛けたい。

② その他

- ・ 次回の評価委員会は、11月1日（火）の午後2時から開催する。